

各ルートにおける平日と休日の一日当たりの平均利用者数は、各ルートともに平日に比べて休日の利用者数の方が少ない状況となっています（図 6-1、表 6-1 参照）。

中でも、麻布東ルートの休日の一日当たりの平均利用者数は、他ルートに比べて非常に少ない利用者数で推移しています（図 6-1、表 6-1 参照）。

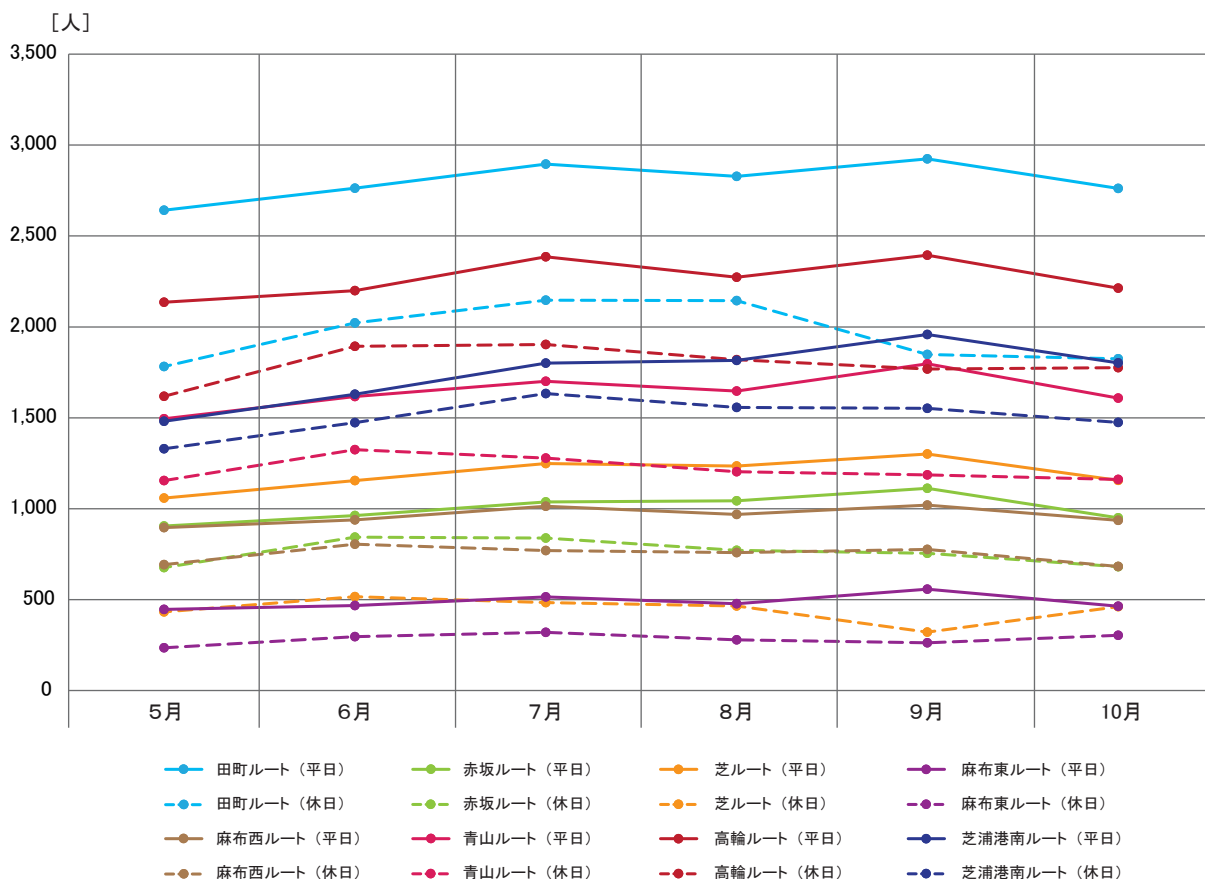


図 6-1：各ルートにおける 1 日当たりの平均利用者数の推移

表 6-1：各ルートにおける 1 日当たりの平均利用者数

	田町ルート		赤坂ルート		芝ルート		麻布東ルート		麻布西ルート		青山ルート		高輪ルート		芝浦港南ルート	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
5月	2,642	1,782	905	607	1,059	432	447	235	897	692	1,495	1,154	2,135	1,619	1,480	1,330
6月	2,763	2,022	963	843	1,154	516	468	296	939	805	1,617	1,325	2,199	1,894	1,630	1,474
7月	2,895	2,147	1,038	838	1,248	484	515	320	1,014	770	1,700	1,278	2,386	1,903	1,801	1,633
8月	2,828	2,145	1,044	771	1,235	465	477	279	969	758	1,647	1,203	2,273	1,820	1,816	1,558
9月	2,924	1,849	1,112	755	1,301	322	558	240	1,020	733	1,797	1,186	2,394	1,768	1,958	1,553
10月	2,761	1,824	950	682	1,156	461	464	315	936	707	1,608	1,161	2,213	1,776	1,802	1,475
平均	2,801	1,955	1,001	761	1,191	443	487	279	962	744	1,642	1,217	2,266	1,794	1,747	1,502

そこで、麻布東ルートを芝ルートと同様に、土日の運行間隔を 30 分に変更することにより、収支率の改善が期待されます。

青山ルートは、平成 23 年 4 月より「日赤医療センター」バス停が新規設置され、多くの乗客がこのバス停を利用しています。しかし、現在のルートでは、高樹町交差点の交通規制により、赤坂見附方面ルートでしかバス停を利用できない状況となっています。

そこで、平成 24 年 3 月に供用開始した補助 5 号線を通るルートに変更することで、赤坂見附方面、六本木ヒルズ方面の両経路で「日赤医療センター」バス停を利用できるようにし、利用者の利便性の向上を図ります。なお、ルート変更時期は、日赤医療センターへの乗り入れを視野に入れ、センター内の建替工事が平成 25 年 10 月に完了したことから、平成 26 年 3 月のルート変更を目指しています。

ここでは、下記の 2 案について比較検討し、現段階で実現可能なルート変更案を検討します。

- 案 1：日赤医療センター経由ルート①
- 案 2：日赤医療センター経由ルート②



図 7-1：現在の青山ルート

表 7-1：2案の比較表

	変更案 1：日赤医療センター経由ルート①			変更案 2：日赤医療センター経由ルート②		
概要	往路・復路の両経路で「日赤医療センター」バス停を経由するルート案			「南青山七丁目」バス停は廃止し、往路・復路の両経路で「日赤医療センター」バス停を経由するルート案		
距離		往路 [六本木ヒルズ発]	復路 [赤坂見附駅発]		往路 [六本木ヒルズ発]	復路 [赤坂見附駅発]
	現行ルート	約 7.1km (約 44 分)	約 5.2km (約 29 分)	現行ルート	約 7.1km (約 44 分)	約 5.2km (約 29 分)
	変更案 1	約 7.8km (約 49 分)	約 6.0km (約 37 分)	変更案 2	約 7.5km (約 47 分)	約 5.6km (約 38 分)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・現行ルートでは、「日赤医療センター」バス停は往路のみの利用ですが、復路でも利用可能となるため、利用者の利便性が向上し、利用者数の増加が見込まれます。 ・「日赤医療センター」バス停に東京女学館が近接しているため、学生利用者の増加が見込まれます。 ・現行ルートに大幅な変更がないことから、利用者への影響を最小限に抑えられると考えられます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・現行ルートでは、「日赤医療センター」バス停は往路のみの利用ですが、復路でも利用可能となるため、利用者の利便性が向上し、利用者数の増加が見込まれます。 ・「日赤医療センター」バス停に東京女学館が近接しているため、学生利用者の増加が見込まれます。 		
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・運行距離が約 1.5km 長くなるため、所要時間が約 13 分延長となります。 ・バス停間の距離が長くなるため、バス停を新規に設置する必要があります (想定追加バス停 1 箇所)。 			<ul style="list-style-type: none"> ・運行距離が約 0.8km 長くなるため、所要時間が約 12 分延長となります。 ・「南青山七丁目」バス停が廃止されることにより、約 122 人 / 日 (約 8.2%) [参考：H23 年度移動実態調査] の利用者に影響があります。 ・将来的に、利用者が増加した場合でも日赤通りの道路幅員からバス車両を中型に変更することができません。 ・バス停間の距離が長くなるため、バス停を新規に設置する必要があります (想定追加バス停 1 箇所)。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現行ルートより運行距離が約 1.5km 長くなりますが、利用者数の増加が見込まれます。 <div style="text-align: center; font-size: 2em;">○</div>			<ul style="list-style-type: none"> ・現行ルートより運行距離が約 0.8km 長くなり、現行バス停の廃止による利用者への影響はあるものの、利用者数の増加が見込まれます。 <div style="text-align: center; font-size: 2em;">△</div>		

【案 1：日赤医療センター経由ルート①案の検討】

青山ルートを図 7-2 のように変更することにより、廃止されるバス停がないため、現在の利用者への影響は無いと考えられます。

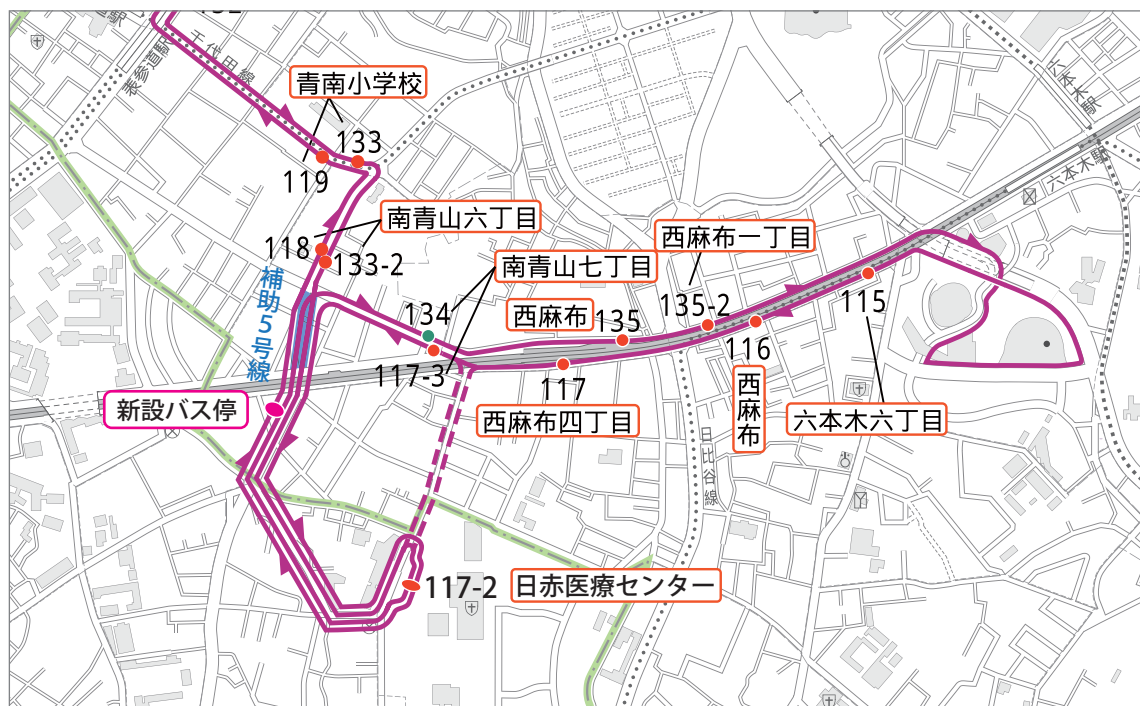


図 7-2：日赤医療センター経由ルート案

現在、平成 26 年 3 月の実施に向けて、交通管理者や日赤医療センター等の関係機関と調整しています。

なお、ルート変更に伴い、『117-2 日赤医療センター』～『118 南青山六丁目』のバス停間の距離が長くなるとともに、『117-2 日赤医療センター』～『134 南青山七丁目』のルートが追加されることから、新規バス停を 1 箇所設置する予定です（図 7-2 参照）。

芝浦港南ルートは、運行開始以来、着実に利用者数が増加し、現在では「田町ルート」、「高輪ルート」に次ぐ利用者数（図 8-1 参照）となっています。

そこで、輸送能力の増強と車内環境の向上を図ることを目的として、平成 25 年 4 月より一部の小型車両を中型車両へ入れ替えたことにより、利用者数が増加し、ベビーカー等による苦情が減少していることから、輸送能力が増強されるとともに、車内環境も改善されたと考えられます。

以上のことから、残りの車両を中型車両に入れ替えることにより、さらなる利用者数の増加と車内環境の向上が期待できます。

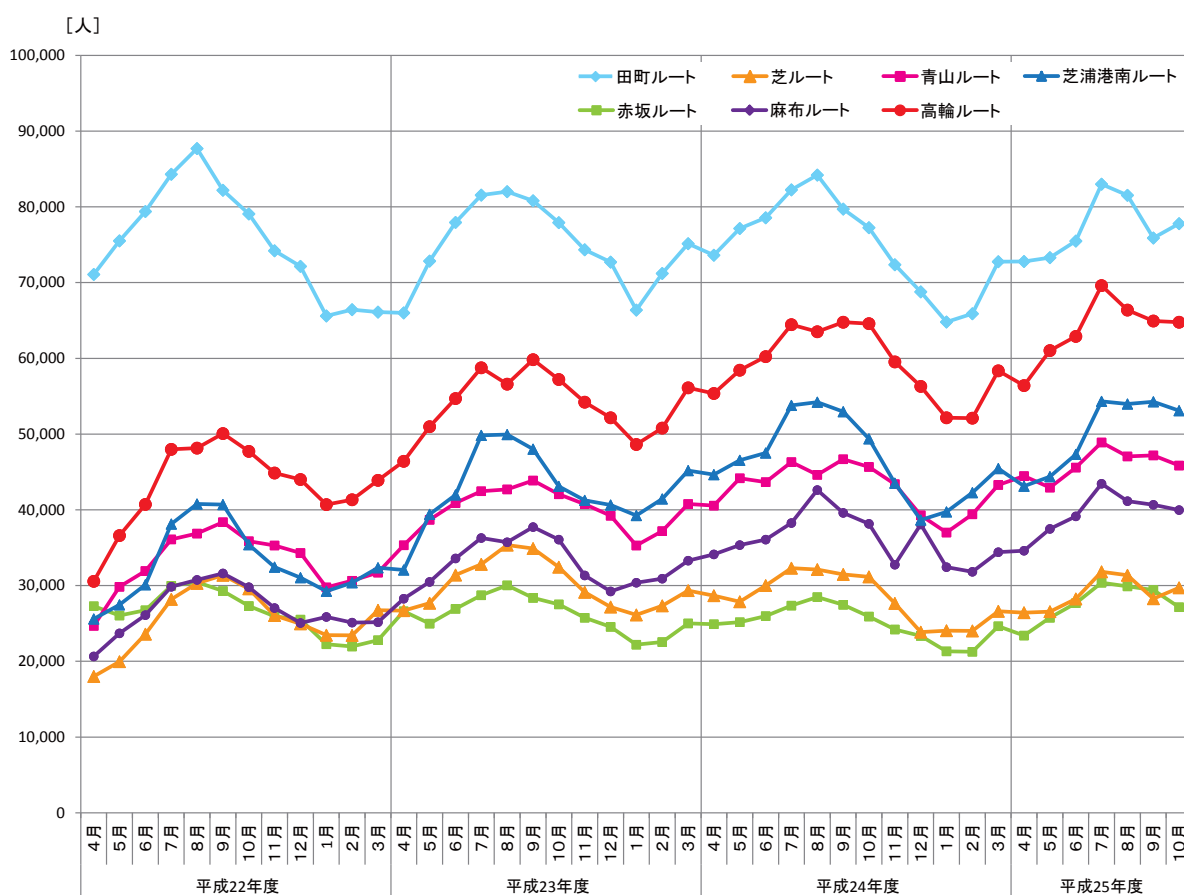


図 8-1: 「ちいばす」 7 路線の利用者数の推移 (再掲)

東京には年間で日本人旅行者が約 4.7 億人、外国人旅行者が約 556 万人（参考：平成 24 年東京都観光客数等実態調査）もの人が訪れています。さらに、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことを受け、今後も東京への観光客は日本国内外を問わず増加すると考えられます。

このことから、麻布東ルートで出た余剰車両を活用して、港区内にある多くの観光スポットを巡る土日祝日限定の観光ルートを整備することが考えられます。そこで、試験的に 1 時間に 1 便の割合で観光ルートを整備し、利用者数の状況を鑑みながら、収支率の向上が図れるか等について検討していきます。

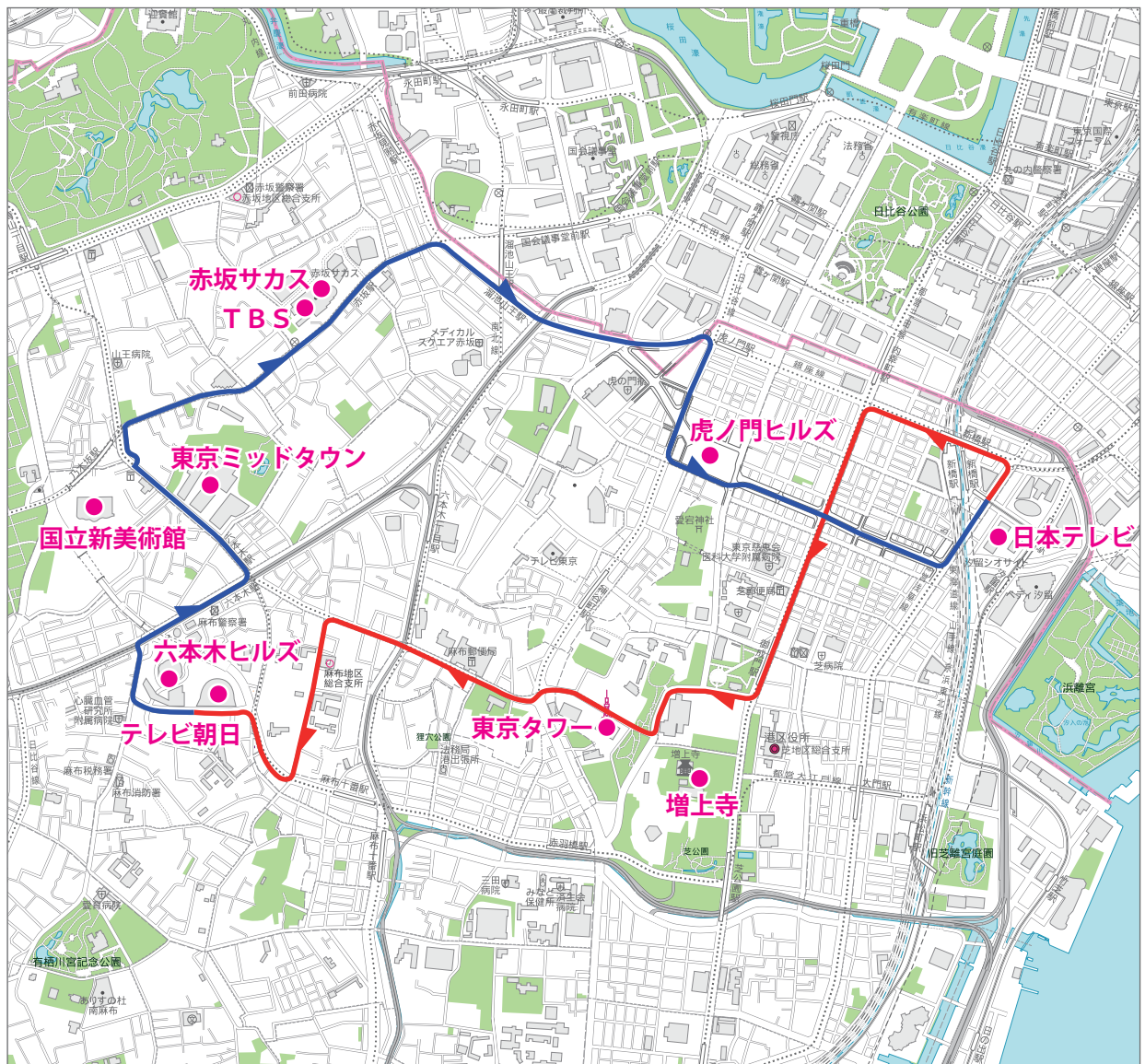


図 9-1：観光ルート案

1. 共通一日券の発行

「お台場レインボーバス」の運行開始により、台場地域へのアクセス性が向上しています。そこで、台場地域のさらなる魅力の向上と観光振興による港区全体の活性化を図ることを目的として、「ちいばす」と「お台場レインボーバス」との共通一日券を平成25年4月より土曜日、日曜日及び祝日等を対象として発行しています。

このことにより、平成25年度4月～10月の「ちいばす」の1日乗車券は前年度の同時期に比べ販売数は約1.7倍増加しており、「お台場レインボーバス」との共通一日券にすることで販売率が上昇したと考えられます。

表 10-1 ちいばす・お台場レインボーバスの共通一日乗車券の販売数

	ちいばす			レインボーバス		
	平成24年度	平成25年度	増減	平成24年度	平成25年度	増減
4月	24	25	1	40	50	10
5月	7	28	21	26	51	25
6月	11	20	9	31	33	2
7月	12	13	1	35	75	40
8月	7	20	13	56	71	15
9月	18	24	6	41	42	1
10月	6	18	12	25	35	10
合計	85	148	63	229	339	103

※レインボーバスの共通一日乗車券の販売枚数は、平成24年度は「レインボーバス」の販売枚数、平成25年度は「レインボーバス+フラワーバス」と「レインボーバス+ちいばす」の販売枚数を合計したものです。



図 10-1 共通一日券の見本

2. AEDの導入

利用者の安全安心の確保を図るために、傷病者発見時等の不測の事態に確実な心肺蘇生術を施し、救命率の向上につなげます。

乗務員の普通救命講習を実施し、全ての乗務員の講習が終わった平成25年4月より車内にAEDを設置しました。



図 10-2 : A E D設置のラベル



図 10-3 : A E Dの設置状況

3. 広告等による収入確保

新たな収入を確保することにより、収支率の向上を図ることを目的として、車両にラッピングを行いました。

あらかじめ広告を印刷したフィルムを車体に貼ることにより、その広告主の施設利用者の増加や企業の宣伝効果となるとともに、「ちいばす」の収支率の改善が期待できます。



図 10-4 : ラッピングの様子

4. 運行状況に応じたダイヤの見直し

時間帯や曜日により恒常的な遅延が発生していることから、遅延状況等を調査し、時間帯や平日と土日祝日との道路状況等の違いの特徴を勘案して運行ダイヤの見直しを行いました。

運行ダイヤを見直すことで、遅延が解消され、定時性が確保されることで利便性の向上が図れるとともに、運行上の安全性にもつながっています。

芝浦港南ルート (平成24年度時刻表)

田町駅東口→品川駅東口				
番号	停留所名称	(始発)	(始発)	最終
162	田町駅東口	7:39	7:59	8:19
163	芝浦一丁目	7:41	8:01	8:21
164	竹芝橋	7:43	8:03	8:23
165	芝浦二丁目	7:44	8:04	8:24
166	芝浦三丁目	7:45	8:05	8:25
167	芝浦アイランド	7:47	8:07	8:27
168	海岸三丁目	7:48	8:08	8:28
169	芝浦ふ頭駅	7:50	8:10	8:30
170	埠頭公園入口	7:52	8:12	8:32
171	海岸三丁目	7:53	8:13	8:33
172	芝浦アイランド	7:55	8:15	8:35
173	八千代橋東	7:57	8:17	8:37
57	芝浦四丁目	7:59	8:19	8:39
174	高浜橋	7:40	8:00	8:40
175	芝浦中央公園運動場	7:42	8:02	8:42
176	浜路橋	7:43	8:03	8:43
177	港南の郷	7:44	8:04	8:44
178	港南三丁目	7:45	8:05	8:45
179	港南四丁目	7:48	8:08	8:48
180	港南四丁目交差点	7:50	8:10	8:50
181	港南健康福祉館	7:51	8:11	8:51
182	新港南橋	7:52	8:12	8:52
183	港南一丁目	7:53	8:13	8:53
137	芝浦中央公園入口	7:54	8:14	8:54
184	品川駅東口	7:56	8:16	8:56

品川駅東口→田町駅東口				
番号	停留所名称	(始発)	(始発)	最終
184	品川駅東口	8:01	8:21	8:41
185	港南一丁目	8:02	8:22	8:42
186	新港南橋	8:04	8:24	8:44
187	港南いらいきプラザ	8:04	8:24	8:44
188	港南小学校前	8:05	8:25	8:45
188-2	港南四丁目	8:07	8:27	8:47
189	港南三丁目	8:07	8:27	8:47
176	浜路橋	8:08	8:28	8:48
177	港南の郷	8:09	8:29	8:49
190	芝浦中央公園運動場	8:11	8:31	8:51
191	高浜橋	8:12	8:32	8:52
54	芝浦四丁目	8:13	8:33	8:53
192	八千代橋東	8:15	8:35	8:55
167	芝浦アイランド	8:18	8:38	8:58
168	海岸三丁目	8:19	8:39	8:59
169	芝浦ふ頭駅	8:21	8:41	9:01
170	埠頭公園入口	8:23	8:43	9:03
171	海岸三丁目	7:24	7:44	8:04
172	芝浦アイランド	7:26	7:46	8:06
193	芝浦三丁目	7:28	7:48	8:08
194	芝浦二丁目	7:29	7:49	8:09
195	竹芝橋	7:29	7:49	8:09
196	芝浦一丁目	7:30	7:50	8:10
162	田町駅東口	7:33	7:53	8:13

芝浦港南ルート (平成25年度時刻表)

田町駅東口→品川駅南口				
番号	停留所名称	始発	始発	最終
162	田町駅東口	7:39	9:39	9:59
163	芝浦一丁目	7:42	9:44	10:02
164	竹芝橋	7:44	9:44	10:04
165	芝浦二丁目	7:45	9:45	10:05
166	芝浦三丁目	7:47	9:47	10:06
167	芝浦アイランド	7:49	9:49	10:08
168	海岸三丁目	7:51	9:51	10:11
169	芝浦ふ頭駅	7:53	9:53	10:11
170	埠頭公園入口	7:55	9:55	10:13
171	海岸三丁目	7:57	9:57	10:14
172	芝浦アイランド	7:59	9:59	10:16
173	八千代橋東	7:41	8:01	8:20
57	芝浦四丁目	7:43	8:03	8:20
174	高浜橋	7:44	8:04	8:21
175	芝浦中央公園運動場	7:47	8:07	8:23
176	浜路橋	7:48	8:08	8:24
177	港南の郷	7:49	8:09	8:25
178	港南三丁目	7:50	8:10	8:26
179	港南四丁目	7:53	8:13	8:29
180	港南小学校前	7:55	8:15	8:31
181	港南いらいきプラザ	7:56	8:16	8:32
182	新港南橋	7:57	8:17	8:33
182	港南一丁目	7:58	8:18	8:34
137	芝浦中央公園入口	7:59	8:19	8:35
184	品川駅南口	8:01	8:21	8:37

品川駅南口→田町駅東口				
番号	停留所名称	始発	始発	最終
184	品川駅南口	8:03	8:23	10:23
185	港南一丁目	8:05	8:25	10:24
186	新港南橋	8:07	8:27	10:24
187	港南いらいきプラザ	8:07	8:27	10:24
188	港南小学校前	8:09	8:29	10:24
188-2	港南四丁目	8:10	8:30	10:24
189	港南三丁目	8:11	8:31	10:24
176	浜路橋	8:13	8:33	10:24
177	港南の郷	8:14	8:34	10:24
190	芝浦中央公園運動場	8:17	8:37	10:24
191	高浜橋	8:18	8:38	10:24
54	芝浦四丁目	8:19	8:39	10:24
192	八千代橋東	8:21	8:41	10:24
167	芝浦アイランド	8:24	8:44	10:24
168	海岸三丁目	8:26	8:46	10:24
169	芝浦ふ頭駅	8:28	8:48	10:24
170	埠頭公園入口	8:30	8:50	10:24
171	海岸三丁目	7:23	7:52	8:17
172	芝浦アイランド	7:24	7:54	8:14
193	芝浦三丁目	7:27	7:57	8:17
194	芝浦二丁目	7:28	7:58	8:18
195	竹芝橋	7:29	7:59	8:19
196	芝浦一丁目	7:30	8:00	8:20
162	田町駅東口	7:43	8:03	8:23

図 10-5：平成 24・25 年度芝浦港南ルート時刻表

5. CSへの取り組み

運転士の接客意識向上を目的としたCSへの取り組みの一環として、「おもてなし」運動を実施しております(図 10-6 参照)。

また、バス車内に安全運転に対する意識付けとして「運転士の決意」を貼り出してあります(図 10-7 参照)。

このようなことにより、運転士が接客や安全運転への意識を高めることで、利用者が快適な運行に努めています。



図 10-6：「おもてなし」運動のバッジ



図 10-7：運転士の決意の貼り出し状況

6. イベント等の参加による認知度の向上

「ちいばす」の認知度向上を目的として、港区内で開催される『みなと区民まつり』に「ちいばす」を出展するとともに（図 10-8 参照）、小学生の生活指導を目的として、区内の小学校において「ちいばす」の体験授業を行っています（図 10-9 参照）。

『みなと区民まつり』では、ちいばす車両を展示し、運転席での記念撮影を行うなど、「ちいばす」に親しみをもってもらえることで、利用者増が期待できます。また、小学校での体験授業では、体験乗車や運転士の仕事内容を知っていただくことで、より「ちいばす」に親しみをもってもらえることにより、利用者増が期待できます。

今後も積極的に各種イベント等に参加したり、体験授業を行っていくことにより、地域に密着したバス運営を目指します。



図 10-8：みなと区民まつりへの出展



図 10-9：体験授業の風景

7. バリアフリー対応

全ての「ちいばす」利用者が安全で快適に利用できるバスとすることを目的として、バリアフリーに対応した環境の整備を進めています。

高齢者や妊産婦、障害者がバスに乗り降りし易いように、バス車両は全てノンステップバスを導入しています（図 10-10 参照）。また、車いす利用者が安全に乗車できるように、車両に車いす留め具を設置していきます（図 10-11 参照）。

今後も、さらなるバリアフリー化を目指していきます。



図 10-10：ノンステップバス



図 10-11：車いす留め具

8. バス停環境の改善

「ちいばす」の利用者には高齢者が多いことから、「バス停に屋根やベンチを設置して欲しい」との要望が多くありました。

そこで、バス停周辺の状況等を鑑みながら、順次、屋根やベンチを設置し、バス停環境の改善を図っています。

【屋根及びベンチの設置箇所】

■屋根・ベンチの設置（平成 25 年度中）

3 箇所（「58 新橋駅」「66 愛宕警察署」「117-3 南青山七丁目」）

■ベンチの設置（平成 25 年度中）

4 箇所（「65、80 慈恵医大病院前」「93 麻布十番駅前」「40 赤坂駅前」）



図 10-12：バス停に屋根とベンチの設置

1. 電気バス運行の実証実験概要

平成 25 年 7 月から、環境省地球温暖化対策技術開発・実証研究事業の一環として、港区コミュニティバスの「ちいばす」の中から芝ルート路線（全長約 17km）を活用して電気バスを試験走行をしています。

電気バスは1日あたり最大6周で、トータル100km超の距離を走行することができます。また、充電は最大6回可能となっており、1走行ごとに、バス会社車庫にて急速充電することができます。

今後の予定としては、現在の試験走行をふまえた上でルートを選定し走行、平成 26 年 2 月には「ちいばす」にて実運用を行い、総合評価を行う予定です。

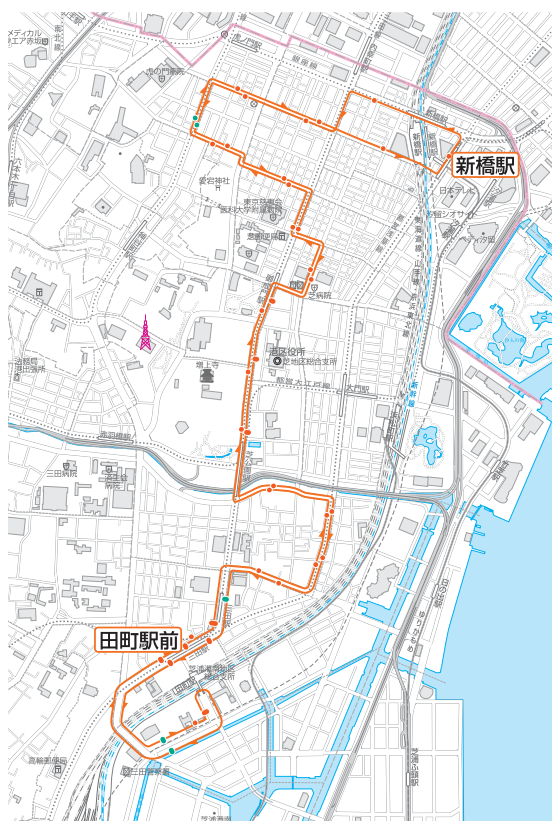


図 11-1 芝ルート路線



図 11-2 電気バス車体



図 11-3 電気バス充電の様子

表 11-1 電気バス運行のスケジュール

	H24年度	H25年度(予定)	H26年度(予定)
EVバスシステム 製作・設置	EVバス 製作 充電システム 製作	システム テスト	設置
試走/ システム運行評価		試走 (テストコース)	実コース試走 残存性能等評価
実運用/総合評価			"ちいばす" 実運用 総合評価